

三郷 議会だより

Sango

第248号

令和4年8月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会/広報編集委員会・議会事務局
電話 (0745) 73-2101 (内線293) 直通 (0745) 43-7371



夏がきた!

主な内容

- ◆ 主な議会の内容 2
- ◆ 一般質問 3~5
- ◆ 常任委員会の主な報告 6
- ◆ 審議結果 6
- ◆ 意見書 7
- ◆ 決議 8

南畑幼稚園にて、3年ぶりのプール遊びを楽しむ様子

毎月11日は『人権を確かめあう日』です。

6月定例会では、専決処分の承認2件、補正予算・条例制定の議案2件、繰越計算書及び寄附などの報告が提出され、全て承認・可決しました。

新型コロナウイルス感染症対応関連補正予算

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」などを活かした事業の一部をご紹介します。

奈良クラブを応援!

今年度に活動本拠地を本町に移すサッカーチーム「奈良クラブ」と包括協定を結びました。

チームが地域に根付き、コロナ禍で低迷している観光を活かすため、奈良クラブの応援と町のPRを目的に郵便ポストをラッピングします。



幼保施設用抗原検査キット購入

町内幼保施設の職員が濃厚接触者となった場合、出勤可能か判断するための検査キットを購入します。

龍田古道の動画を作成

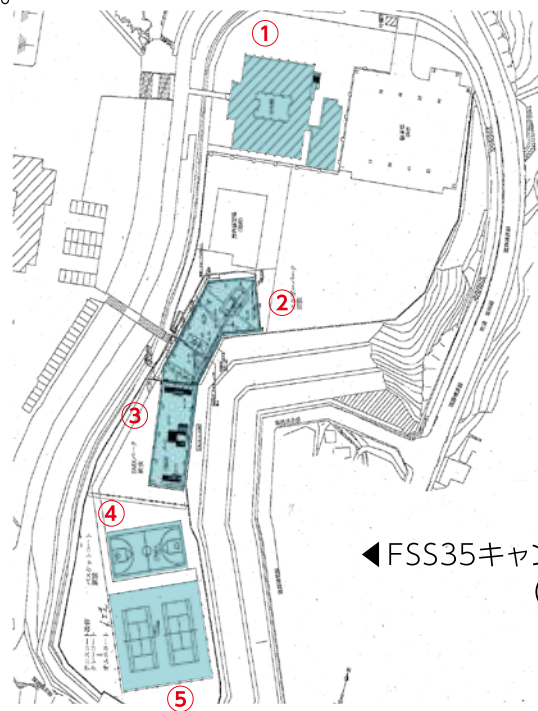
日本遺産「龍田古道」を古代の人々が行き来した様子をアニメーション化し、観光客誘致に繋がります。



FSS35キャンパス事業

奈良学園大学跡地を全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の実現に向けFSS35キャンパスとして、①サテライトオフィスの改修や進出企業に対する経費を支援します。

また、②スケートボード③BMX④バスケットボール⑤テニスができるスポーツパークの整備も企業版ふるさと納税を活用し、財源に工夫を凝らしながら進めます。



◀FSS35キャンパス (一部)

FSSとは、Future Technology(未来技術)、SDGs、Symbiotic Society(共生社会)のそれぞれの頭文字をとった名称です。

掲載しております一般質問は、
通告書による質問に対して1回目
の回答の要旨を掲載しています。

再質問やそれらに係る回答、ま
た掲載以外の質問等については、
会議録に詳しく掲載しています。

会議録は議会事務局、町立図
書館、町のホームページにおい
て閲覧できますが、発行時期等
詳しくは議会事務局にお問い合わせ
ください。

HPVワクチン接種の 積極的勧奨再開について

〈高田 好子 議員〉



令和2年度と令和3年度の対応及び接種状況について、また、積極
的勧奨が再開されることによる定期接種対象者への周知の方法は？
積極的勧奨を差し控えた期間の対象者についても、接種機会が得
られることになったが、その人数と周知方法について。



国の厚生科学審議会にお
いて、平成25年6月より
続いていた「HPVワクチンの積
極的接種勧奨差し控え」を終了
することが決定され、今年4月
より積極的接種勧奨が再開され
ることになりました。

対応及び接種状況について、
令和2年度はホームページで、中
学1年生から高校1年生は定期
接種の対象者であるとの周知を
行いました。年度内に3回接種
を完了した方は2名です。令和
3年度では、厚生労働省からの
文書等に加え、積極的勧奨では
ないが定期接種の対象者である
ことを記載した文書等を個別に
通知しました。年度内に3回接
種を完了した方は9名です。

次に、令和4年度の積極的勧
奨の再開に伴う定期接種対象者
へ周知方法については、既に通知
文を送付しています。

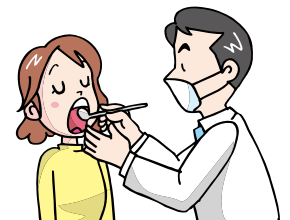
また、積極的勧奨を差し控え
たことで、接種機会を逃した平
成9年度から平成17年度生まれ
の女性に対しては、改めて接種の
機会を提供する通知文を対象者
737名全員に対し、4月下旬に
送付しました。

※HPVワクチンに
ついてはこちらを
ご覧ください



歯周病検診について

〈先山 哲子 議員〉



町ではいろいろな検(健)診が行われているが受診率の推移は？
特に、歯周病については、進行すると全身の健康へのリスクが高まる。
町の保健予防事業について見解を問う。

全体的な検診の受診率に
ついては、コロナ禍以前に
比べ平均1.82%減の7.4%です。

歯周病検診については、従前よ
り回数を増やして年5回・定員
10名とし、歯科医師と歯科衛生
士による歯科相談・指導も行って
います。より多くの方に受診し
ていただけるよう、町独自に対
象者を20歳以上とし、若い世代
の意識向上のため、1歳6か月
児健診の保護者を対象に年8回
実施しています。また妊婦を対
象に母子健康手帳の発行時に歯
周病検診を勧奨しています。

□ 口腔の健康の保持・増進を
図ることは健康寿命の延伸を考
える上で重要であり、特に歯周病
予防の重要性は高くなっていま
す。よって今後、町歯科医師会と
連携を図り、歯周病に関わる情
報や予防のためのセルフケアに
ついて、広報・フェイスブック・イ
ンスタグラム等の情報発信を積
極的に行い、多くの方が検診を
受診できる体制づくりにも努め
てまいります。

また、ヘルスロードを創設し、
身近に運動ができ、健康への意
識を高めてもらうよう、全庁横
断的に工夫しながら健康寿命
日本一を目指していきます。



行政の窓口に「コミュニケーション」設置を出来ないか。

〈先山 哲子 議員〉



高齢化社会になり、聴力機能低下によるコミュニケーション問題によるトラブルも多い。窓口でコミュニケーションを導入することは出来ないか。



コミュニケーションとは、話す側から聞こえの支援ができる新しい形の対話支援スピーカーのことで、大きな声があるのではない感音性難聴の方に対し医療機関、薬局、介護施設等で導入されています。大きな声を出すことなく一定の距離で話すことができするため、新型コロナウイルス感染症対策、さらには聞こえの支援として効果があるとされています。

加齢性難聴者への補聴器購入に助成を

〈神崎 静代 議員〉



加齢とともに聞き取る力が弱くなり、認知機能の低下にもつながると指摘される加齢性難聴について、助成制度を創設するべきでは。



最近の状況として、補聴器購入の助成を実施している自治体が増加していること、コロナ禍でマスク越しの会話の聞き取りに苦慮されている現状などを総合的に判断し、聴力機能の低下により日常生活を営むことに支障がある高齢者に対し、補聴器の購入費用の一部を助成する補正予算を計上しました。

助成の要件として、町内に住所を有する65歳以上の方に、補聴器購入費の2分の1を乗じた額で、2万円を上限に助成を行います。詳細については要綱で定め、7月から実施していきたくと考えています。



議会を傍聴しませんか



次回の定例会は9月上旬を予定しています。事務局で受付していただき傍聴できます。傍聴・日程等の詳細は、議会事務局までお問い合わせください。TEL 43-7371 (直通)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用等をお願いしています。

地震から命を守る家具転倒防止器具の設置補助を。

〈辰己 圭一 議員〉



地震から命を守るためには家具や電化製品の固定による転倒防止は、最も重要な減災対策と考える。設置補助について町の見解は。



過去の大きな地震の統計データでは、家屋倒壊や家具等の転倒による圧死や窒息死が非常に大きな割合を占めており、多数の方が地震発生直後に亡くなられていることが分かっています。事前の備えが命を守るうえで、最も基本的かつ有効な対策であると認識しています。

このことから、既存木造住宅の耐震診断や耐震改修は、すでに補助事業を実施していますが、家具類の転倒防止対策についても、例えばL字型安全金具や、突っ張り器具、下敷き器具など有効な事前対策を行っていただけるよう、これまで以上に周知・啓発したいと考えます。

また、これら転倒防止対策にかかる補助事業について、現在、県内で実施している市町村はありませんが、先進事例を参考にしつつ、本町の特性に応じた事業を、今後検討していきたいと考えています。

その他の一般質問

★高田好子 議員

●ヤングケアラー支援について

★澤美穂 議員

●HSC(ハイリー・センシティブ・チャイルド)への周知と対応は？

●高齢者福祉タフシー券の乗合タフシー利用について

★久保安正 議員

●一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の中間目標値達成への見通しは

●奈良県後期高齢者医療広域連合議会での第8期(2022年度2023年度)保険料率改定についての審議の内容は。

★南真紀 議員

●セルフネグレクトについての町の取り組みは

★神崎静代 議員

●ヤングケアラーに関する実態把握と支援について

★辰己圭一 議員

●募金型自販機の設置で35子ども食堂の支援を。

★木谷慎一郎 議員

●自治体オープンデータへの取り組み状況と利用推進について



6月

10日 第2回定例会本会議

13日 総務建設常任委員会

14日 上下水道特別委員会

15日 文教厚生常任委員会

17日 全員協議会・本会議

24日 例月現金出納検査

7月

7日 奈良県町村議会議長会

正副議長研修会

上下水道事業会計決算審査

9日 差別をなくす町民集会

13日 第3回臨時会

20日 例月現金出納検査

28日 奈良県民集会



常任委員会の 主な報告

総務建設常任委員会

▶ 開会日 令和4年6月13日(月)
午前9時30分～

文教厚生常任委員会

▶ 開会日 令和4年6月15日(水)
午前9時30分～

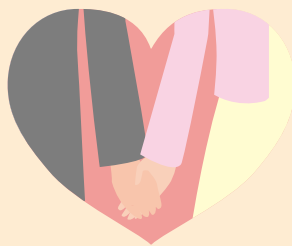
令和4年度三郷町一般会計補正予算(第2号)

議案第27号

(全会一致原案可決)

Q 婚活事業について

A 定住促進、人口増加を目指すし取り組めます。出会い・結婚・出産等の諸問題への理解と浸透を図るため、5か年計画で支援センター立ち上げ等を含め、準備していきます。



Q 三郷北小学校の整備工事の件

A 開校以来使用している靴箱とその周辺の共有部は劣化が著しく、地方創生臨時交付金を活用して共用部の壁を改修し、抗菌塗装を施した児童用靴箱に更新することにより感染症対策を図ります。

なお、三郷北小学校は昇降口が1か所のみで、全児童が集中するため、壁の塗装範囲は昇降口を中心に、学校全体の共用部を重点的に行いたいと考えています。



▲三郷北小学校の昇降口(令和4年3月9日)

議案第28号

三郷町太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致原案可決)

太陽光発電はCO₂を排出しないクリーンエネルギーですが、一方でメガソーラーシステムの設置による森林伐採や、周囲の生活環境の乱れが問題となるケースもあります。町民の生活環境や自然環境を守りながら、太陽光発電の正しい運用を促進するために制定します。

Q 設置事業の許可及び適用範囲について

A 開発に係る面積を1,000㎡を基準とし、変圧設備等が多くかかる目安の50キロワット以上を発電出力の基準としました。

なお、この条例は令和4年7月1日から施行しますが、それ以前に設置事業の一部が着手されていて、施行日以降に完了が見込まれる場合も対象とします。

令和4年第2回(6月)三郷町議会定例会 6月10日(金)～6月17日(金)

議案	審議結果
承認第7号 令和4年度三郷町一般会計補正予算(第1号)の専決処分について	全会一致原案承認
承認第8号 令和4年度三郷町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分について	全会一致原案承認
議案第27号 令和4年度三郷町一般会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第28号 三郷町太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について	全会一致原案可決
報告第2号 令和3年度三郷町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告受理
報告第3号 令和3年度三郷町下水道事業会計予算繰越計算書について	報告受理
報告第4号 令和3年度三郷町水道事業会計予算繰越計算書について	報告受理
報告第5号 寄附の受け入れについて	報告受理
報告第6号 令和3年度クラウドファンディングについて	報告受理
発議第2号 インボイス制度の導入延期または中止を求める意見書 ※「インボイス制度の導入の延期を求める意見書」として修正可決しました。	全会一致修正可決
発議第3号 インボイス制度開始にあたって、シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	全会一致原案可決
決議第2号 STOP! コロナ差別 三郷町宣言決議案	全会一致原案可決

可決された意見書

発議第2号

インボイス制度の導入の延期を求める意見書

2019年10月の消費税10%への引き上げにともない、2023年10月よりインボイス制度(適格請求書等保存方式)が実施されることになった。インボイス制度は、仕入税額控除を受けるための新たな改正である。昨年10月1日からインボイス発行事業者の登録申請が始まった。

これまで、基準期間の課税売上高が、1000万円以下であれば消費税の納税は免除されていたが、インボイス制度の登録事業者になれば売上高にかかわらず納税義務が発生する。一方、消費税の仕入税額控除を受けるためには、登録事業者の発行する適格請求書が必要となる。そのため、免税事業者は取引を避けられかねず、登録をしてもしなくても、中小事業者、個人事業主などには従前に比べて負担がかかることになる。

新型コロナウイルス感染症の影響で、中小事業者が経営難に

苦しみつつも事業継続、雇用維持に懸命に取り組んでいる中、インボイス制度の導入により更なる負担が課されることになれば、経営意欲を失い、廃業を選択する中小事業者が増加し、コロナ禍からの経済再生を阻害することにもつながりかねない。

全国商工会連合会や日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本税理士会連合会をはじめ様々な団体・個人からも制度の廃止や実施延期を求める声が上がっている。

よって、政府においては、中小事業者や個人事業主の事業継続と再生、ひいては日本経済振興のため、インボイス制度の導入の延期を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

2022年6月17日
奈良県三郷町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官

発議第3号

インボイス制度開始にあたって、 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

シルバー人材センター(以下「センター」という。)は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5(2023)年10月に、消費税において適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは仕入れ税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はない。

人生100年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きを置いた「いきがい就業」をしているセンターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。センターにとっては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。

よって、三郷町議会は、国会及び政府に対し、インボイス制度開始後においても少額の収入しかないセンターの会員の手取り額がさらに減少することなく、センターにおいて、安定的な事業運営が可能となる措置を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年6月17日
奈良県三郷町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

決議第2号

STOP! コロナ差別 三郷町宣言決議

「新型コロナウイルス 国内初の患者」などとメディアで報じられたのは、令和2年1月16日のことでした。2年4ヵ月以上経過した現在も新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えません。令和3年2月から医療従事者や高齢者をはじめとする新型コロナワクチン接種が始まりましたが、感染の予防に努めても、この感染症を完全に防ぐことは難しく、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。

一方で、感染された方や医療従事者・エッセンシャルワーカー（人々の生活を支えるために必要不可欠な仕事に従事する方）とその家族、体質や持病等の身体的理由を含め、様々な理由によりワクチンを接種していない方などに対する差別や偏見、誹謗中傷、SNSへの心ない書き込みなどの状況が後を絶ちません。

いかなる場合であっても、人権を侵害し、大切な命、暮らしや仕事を脅かす行為は決して許されるものではありません。今、みんなが不安に包まれやすくなっています。そんな時だからこそ、自分の言葉や行動が差別につながっていないか、「誰か」のことではなく「自分のこと」として考えることが大切です。

三郷町では、SDGsの理念「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、様々な取り組みを行っており、そのひとつとして、シトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

三郷町議会は、「新型コロナウイルス感染症に関連した差別は決して許さない」との強い決意のもと、今後も町民一人一人の人権が尊重され、偏見や差別のない心豊かな、やさしさあふれるまちづくりを進めることを、ここに宣言します。

STOP! コロナ差別 三郷町宣言

1. 私たちは、感染者とその家族、ワクチンを接種していない方などへの差別や偏見のない三郷町をめざします。
1. 私たちは、医療従事者やエッセンシャルワーカーとその家族への差別や偏見のない三郷町をめざします。
1. 私たちは、思い込み、過剰な反応による差別や偏見のない三郷町をめざします。

以上、決議する。

令和4年6月17日
奈良県三郷町議会



(辰己 圭二)

さて、ここ数年日本各地で地震が頻発しており、日頃からできる減災と防災意識が大切だと思います。そこまずは自分の命を守る自助の取り組みとして、地震から命を守る家具転倒防止の設置に対する補助を提案しました。また最近の豪雨や台風等の自然災害は、想定している以上の頻度・規模で発生しています。今一度、災害は、いつかおきるものという意識を持って、日頃から防災対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

これからも、平時から危機管理を忘れず議員活動に活かしていきたいと思っています。

編集後記

6月議会では、『STOP! コロナ差別 三郷町宣言』決議が全会一致で可決しました。これは、新型コロナウイルスに感染された方やワクチンを接種できない方また医療従事者等に対し、差別や偏見のない三郷町を目指すもので、三郷町から全国へ発信したいと考えております。